

紋枯病の発生に注意しましょう!!

7月の気象は、気温が高く降水量は少ない予報ですが、水稻の生育は茎数が増加しており、高温多湿を好む紋枯病菌にとって発生しやすい条件となることが予想されます。

早生品種や草丈の短い品種、茎数が多く過繁茂の圃場、昨年多発生した圃場では、被害が大きくなります。圃場での発生を確認し、適期に薬剤防除を行いましょう。

1. 防除の必要な圃場

●穂ばらみ期の発病株率

(早生) 10%以上の圃場 (中生) 20%以上の圃場

- ・圃場により、発病に差がみられるので、圃場ごとに確認しましょう。
- ・畦畔沿いで発生が少なくても、圃場に入ると多いことがあります。圃場内も調査しましょう。
- ・紋枯病に登録のある育苗箱施用剤を処理していない圃場では、必ず調査を行い、適期防除に努めましょう。



●上記の基準に達していない場合でも、**倒伏が予想される圃場**では防除が必要です。

2. 防除時期

茎葉散布剤 (粉剤・液剤) …早生・中生品種では穂ばらみ期に防除

- ・降雨が続き、多発生が予想される場合には、穂揃期に2回目の散布を行う。
- ・晩生や直播栽培等出穂が遅い圃場でも、発病が多い場合は7月下旬に防除する。
- ・薬剤が株元の病斑にかかるように散布する。
- ・育苗箱施用剤や粒剤で防除した圃場でも、発生が多い場合には、穂ばらみ期に追加防除を行う。

粒剤 …7月上旬が防除適期

- ・前年多発生した圃場では、粒剤施用で予防を行う。薬剤により施用時期が異なるので注意する。

3. 防除薬剤

防除時期	薬剤名	FRACコード*	使用濃度	10aあたり使用量	使用時期	使用方法	使用回数
第1回目 穂ばらみ期 (垂直進展初期)	バリダシン粉剤DL	U18		3~4kg	収穫14日前まで	散布	5回以内
	バリダシン液剤5	U18	1,000倍	60~150g	収穫14日前まで	散布	5回以内
	ラブサイトモンテレンフロアブル	16.1.20	4倍	800mL	収穫21日前まで	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
	アミスタートレボンSE	11	8倍	800mL	収穫14日前まで	無人航空機による散布	3回以内
第2回目 穂揃期			1,000倍	60~150g	収穫14日前まで	散布	3回以内
	ビームイトモカットフロアブル	16.1.7	5~8倍	800mL	収穫14日前まで	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
出穂30日前 ~出穂期	リンバー粒剤	7		3~4kg	収穫30日前まで	散布	2回以内
出穂30~10 日前	モンカット粒剤	7		3~4kg	出穂30~10日前、 ただし収穫14日前まで	散布	3回以内
出穂4~5日 後頃	サジェスト微粒剤F	16.1.20		3~4kg	収穫21日前まで	散布	3回以内

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室 連絡先 0776(54)5100

福井県病害虫防除室

検索

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>
QRコードをスキャンしてください →

